

住む人に誇りを、訪れる人に感動を



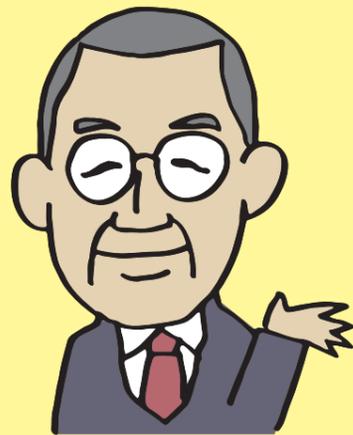
世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

頭ヶ島の集落



頭ヶ島天主堂



鉄川與助

学校教育用補助教材(新上五島町用)



名前

2020年3月発行
企画・制作 / 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会
電話番号: 095-894-3171
協力: 長崎大学教育学部附属小学校
撮影協力: 池田勉、日暮雄一

平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)

世界遺産って何だろう？

世界遺産は、世界中の人々が過去から受けつぎ、守って、未来へと伝えていかなければならない、とても大切な文化財(文化遺産)や自然(自然遺産)のことです。世界中の人々が、おたがいの国のくらしや文化を知り尊重することで、人権尊重や世界平和が実現することを期待されています。

2018年、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、長崎のたからものから日本のたからものへ、そして世界の大切なたからものとなりました。

頭ヶ島の人たちの
残したものが
世界中の人々にとっても
たからものになったんだよ！
すごいね！



世界遺産のいろいろ

世界遺産は、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の3種類に分けられます。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、「文化遺産」で登録されました。世界には、1,121件の世界遺産が登録されています。(2019年現在)

日本には「文化遺産」と「自然遺産」が合わせて23件あります。

文化遺産

昔の人が生活していた跡や古い建物など、人間が作ったもの。
869件(うち日本19件)



① ラパ・ヌイ国立公園 (チリ)



② 自由の女神像 (アメリカ合衆国)



③ バチカン市国 (バチカン市国)



④ メンフィスとその墓地遺跡 (エジプト)

自然遺産

絶滅の恐れのある生き物が住んでいる場所や美しい風景など、自然のもの。

213件(うち日本4件)



⑤ ガラパゴス諸島 (エクアドル)



⑥ サガルマータ国立公園 (ネパール)



⑦ 四川ジャイアントパンダ保護区群 (中国)



⑧ グレート・バリア・リーフ (オーストラリア)

複合遺産

「文化遺産」と「自然遺産」をあわせたもの。

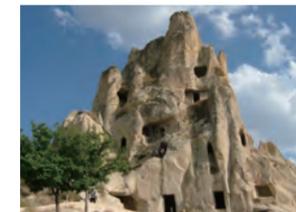
39件(うち日本0件)



⑨ カンペチェ州カラクムルの古代マヤ文明と熱帯保護林 (メキシコ)



⑩ マチュ・ピチュの歴史保護区 (ペルー)



⑪ ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群 (トルコ)



⑫ ウルル=カタ=ジュタ国立公園 (オーストラリア)



日本にある世界遺産

日本には23件の世界遺産があります。姫路城や原爆ドーム、富士山などの「文化遺産」が18件、屋久島や知床などの「自然遺産」が4件あります。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本で22番目に登録された世界遺産です。



1 法隆寺地域の仏教建造物 (1993年)



2 姫路城 (1993年) 提供: 姫路市



3 屋久島 (1993年)



4 白神山地 (1993年)



5 古都京都の文化財 (1994年)



6 白川郷・五箇山の合掌造り集落 (1995年)



7 原爆ドーム (1996年)



8 厳島神社 (1996年)



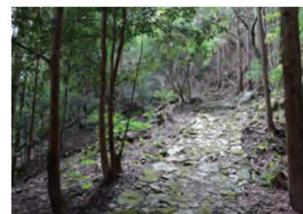
9 古都奈良の文化財 (1998年)



10 日光の社寺 (1999年)



11 琉球王国のグスク及び関連遺産群 (2000年)



12 紀伊山地の霊場と参詣道 (2004年)



13 知床 (2005年)



14 石見銀山遺跡とその文化的景観 (2007年)



15 小笠原諸島 (2011年)



16 平泉 一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 (2011年)



17 富士山—信仰の対象と芸術の源泉— (2013年)



18 富岡製糸場と絹産業遺産群 (2014年)



19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業 (2015年)



20 国立西洋美術館 (ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—) (2016年)



21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (2017年)



22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 (2018年)

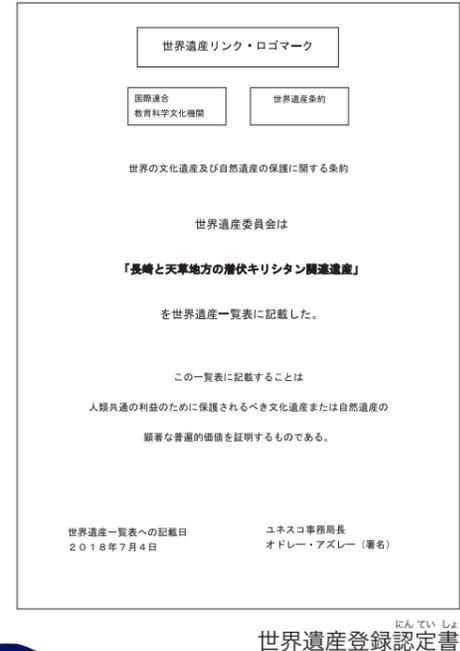


23 百舌鳥・古市古墳群 (2019年)

世界遺産になるまでの歩み

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産に登録してほしいと、日本からユネスコ（国際連合教育科学文化機関）へ申しこみました。すると、こんどはユネスコから頼まれたイコモス（国際記念物遺跡会議）の人が長崎と天草にやってきて、その内容をくわしく調べました。その結果、イコモスの人は、この遺産が世界遺産にふさわしいとユネスコに伝え、最後にユネスコが世界遺産に登録することを決めました。

世界遺産に登録されるまで
11年もかかったんだよ。



世界遺産になるためのルール

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産としてみとめてもらうためにはとてもきびしいルールがあって、この遺産を守っていくための約束をしなくてはなりません。この遺産が持っている素晴らしい文化や環境を守って、未来へ伝えていくための計画をあらかじめ作り、約束を守ることにしています。

どうやって守って
いけばいいのか、
みんなで考えようね!

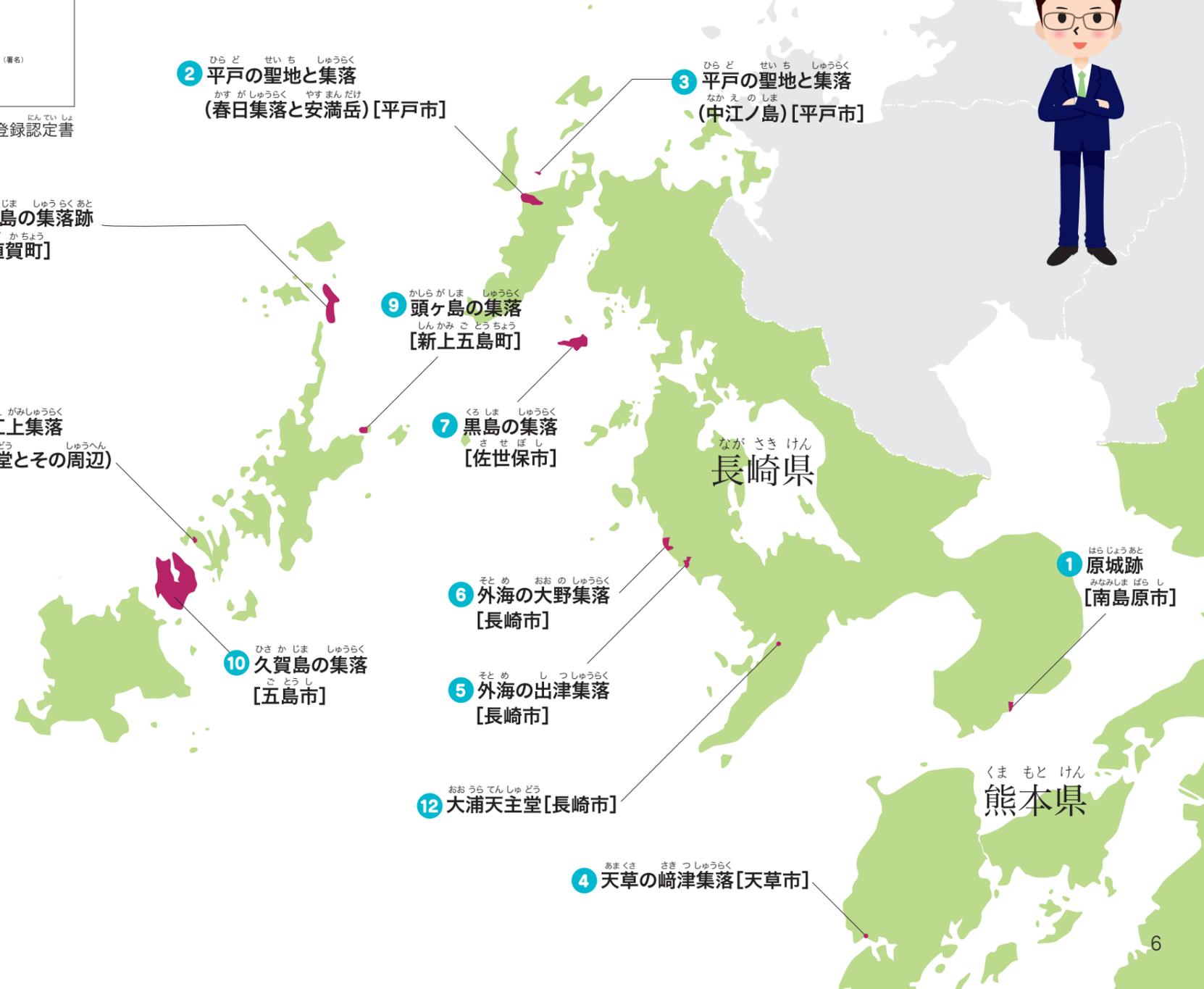
わたしたちは、このような約束によって、この遺産を未来へと守り伝えていくことになったのです。



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」って何だろう？

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本でキリスト教を信じてはいけなかった時代に、ふつうに生活しながら工夫して信じつづけた人たち（潜伏キリシタン）が残した証です。日本に神父がいない中で、かれらがどのようにしてキリスト教の教えを守り続けたのかをひとつのお城の跡とひとつの教会、10の集落が表わしています。

「潜伏キリシタン」って
どんな人たちなんだろうね？
先生といっしょに
勉強しよう!



「長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産」物語

1

昔々、日本の各地にはお殿様がいて、人々は、神社やお寺などでお祈りをしながら、くらししていました。



フランシスコ・ザビエル

2

ポルトガルからフランシスコ・ザビエル神父が日本にやってきて、キリスト教を日本に初めて伝えました。

長崎と天草地方では、平戸に最初にやってきたんだよ。

玄雅の後にお殿様になった五島盛利が、キリスト教を禁止して神父を追い出したから五島にはキリシタンがいなくなってしまったんだよ。



徳川家康

日本で一番えらいお殿様であった徳川家康が自分のいうことをきかせるためにキリスト教を禁止し、昔のように神社やお寺などでお祈りをするように命令しました。

5

キリスト教の禁止とお殿様のひどい政治に怒ったキリシタンたちが戦争をおこしました。(島原・天草一揆)

天草四郎という少年が総大将になって2万数千人ものキリシタンが原城①にたてこもって戦って殺されたんだよ。



天草四郎

フランシスコ・ザビエルの平戸までのルート



3

神父がたくさんやって来て、キリスト教といっしょに、お殿様に鉄砲やお金もうけなどを教えたり、病気の人を治したり、貧しい人に食べ物をあたえたりしたため、日本中に教えが広まりました。



このころ、キリスト教を信じて教会でお祈りした人を「キリシタン」というんだ。五島にキリスト教が伝わったのは、宇久純定というお殿様が、自分の病気を治すために、お医者さんでもあった神父を呼んだのが始まりだよ。純定の子どもの純堯と玄雅はキリシタンになったんだよ。



宇久純定

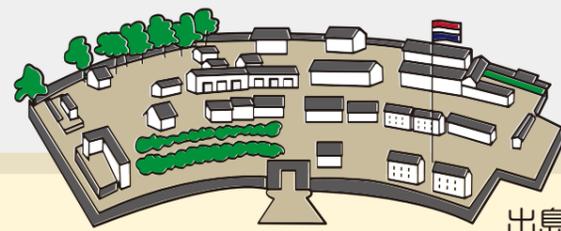
4

長崎の「出島」でだけ、それもキリスト教と関係のない外国とだけおつきあいをすることにしたんだよ。

集落のえらい人が、神父のかわりとなって見つからないように、工夫しながらキリスト教の教えを守り続けた人を「潜伏キリシタン」というんだよ。平戸②③、天草④、外海(出津⑤、大野⑥)にいたことが分かっているんだ。

6

キリシタンが恐ろしくなったお殿様は、神父が日本に入ってくないように港をどじてしまいました。



出島

7

日本には神父がいなくなり、教会もなくなりました。そして、長崎と天草地方のキリシタンは、「潜伏キリシタン」となりました。



マリア観音

次ページに続く

前ページからおよそ150年後…

8

外海で人口が増えすぎて暮らしにくくなったので、潜伏キリシタンは、五島などに引っ越していきました。

外海から海をわたって、人がまだあまり住んでいなかった島でキリスト教の教えを守りながら暮らしたんだよ。黒島⁷、野崎島⁸、頭ヶ島⁹、久賀島¹⁰に引っ越したことが分かっているんだ。



9

それから50年くらいたつと、日本はまた色んな外国とのおつきあいを始めました。長崎の「大浦」というところに、外国の人々が住む町をつくりました。

10

大浦天主堂に神父がいることをきつけた浦上村の潜伏キリシタンが、プティジャン神父に自分たちがキリスト教の教えを守り続けてきたことを話しました(信徒発見)。そして、潜伏キリシタンは、他の村からもやってきましたが、日本ではキリスト教が禁止されていたので、つかまってしまいました。

久賀島では、せまい牢屋にたくさんの人がとじこめられて、なくなった人もいたんだよ。

外国人のために大浦天主堂¹²を建てたんだよ。



大浦天主堂



プティジャン神父

11

潜伏キリシタンは、230年ぶりに教会でお祈りをするようになったんだよ。

外国の人たちが日本に注意したこともあって、日本でもキリスト教を信じるできるようになりました。



12

キリスト教を信じている人たちの村では、神父と協力しながら教会を建てました。



鉄川與助



頭ヶ島天主堂

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



1 原城跡

キリシタンたちが戦争を起こしたお城の跡地



2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)

キリスト教が伝わる前から信じていた山やキリシタンがなくなった島などを拝んだ集落



3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)



4 天草の崎津集落

身近なものなどを拝んだ集落



5 外海の出津集落

キリスト教の絵などを拝んだ集落



6 外海の大野集落

神社などを拝んだ集落



7 黒島の集落

馬を育てていた場所に引っ越した集落



8 野崎島の集落跡

神社があった場所に引っ越した集落の跡地



9 頭ヶ島の集落

病気の人ばかりが住んでいた場所に引っ越した集落



10 久賀島の集落

開発が進んでいなかった場所に引っ越した集落



11 奈留島の江上集落

(江上天主堂とその周辺) 教会が建てられた集落の代表例



12 大浦天主堂

潜伏キリシタンと神父がおよそ200年ぶりにであった教会

奈留島の江上天主堂¹¹が代表例だよ。頭ヶ島でも鉄川與助が頭ヶ島天主堂を建てたね。



新上五島町の地図

上五島にはキリスト教に
関係するものがたくさんあるね。
読み方が分からない漢字は先生に聞いてみよう。
見学する時は、神父様や信徒の皆さんに
迷惑をかけないように
マナーを守ろうね。



北魚目の
重要文化的景観

教会堂の見学マナー

- 室内では帽子を脱いで、静かに見学しよう。
- 室内にある物にはふれないようにしよう。
- 室内では食べたり、飲んだりしないようにしよう。

頭ヶ島の集落

崎浦の
重要文化的景観

わたしの建てた
教会がどれかわかるかな？
みんなで調べてみよう。



鉄川與助

頭ヶ島の地図



5月の中旬、
カトリック共同墓地には、
マツバギクの花が咲いて
一面がピンク色になるよ。
とてもきれいだから
見に行ってみてね。



かしま しゅうらく 頭ヶ島の集落

頭ヶ島は19世紀中頃まで無人島でしたが、その前後の時代には、他の地域から運ばれてきた病人が暮らすようになりました。その後、19世紀中頃から前田儀太夫と一緒に潜伏キリシタンが引っ越してきました。

しら はま ちく 白浜地区



頭ヶ島白浜遺跡
1995年の調査でキリスト教が禁止されていた頃の人の骨が見つかりました。そして、キリシタンならではの方法で埋められていることがわかりました。



白浜集落の発掘写真(1995年)



白浜集落の発掘写真(1995年)

潜伏キリシタンの指導者屋敷跡(「仮の聖堂」跡)／
初代頭ヶ島教会堂跡／頭ヶ島天主堂



「仮の聖堂(かりのせいどう)」跡を示す石碑(せきひ)



頭ヶ島天主堂

上五島地域の潜伏キリシタンの中でえらい人であったドミンゴ松次郎は、1867年に頭ヶ島に引っ越してきて、この場所に家を建てました。1887年には、この近くに木造で最初の教会堂が建てられました。やがて古くなると、1919年、鉄川與助によって今の教会堂が建てられました。近くでとれる石を使って信徒たちが協力しながら10年近くかけて建てました。

た じり ちく 田尻地区



石積(いしづみ)みがある耕作地(こうさくち)

潜伏キリシタンは、急な斜面を切り開いて、イモ作りなどの農業をしながら暮らしました。潜伏キリシタンは外海地域から引っ越してきましたが、石を積む技術もいっしょに持ってきました。田尻地区には、石垣や石を積み上げた壁を持つ小屋などが残っています。

長崎の外海地域と
上五島がつながっていることが
目に見えてわかるね。

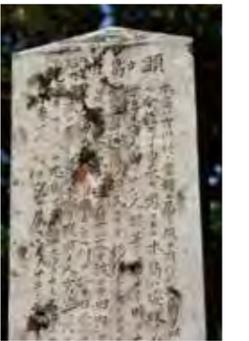


ふく うら ちく 福浦地区

頭ヶ島のえらい人であった前田儀太夫が暮らした場所です。頭ヶ島は病人ばかりが暮らす島であったため、引っ越しを希望する人はいませんでした。そこで、前田儀太夫は鯛ノ浦地区の人たちを誘いました。彼らは潜伏キリシタンだったので、キリシタンではない前田儀太夫と一緒に行動することで、自分たちが信じているものを隠すことができました。福浦地区内には前田儀太夫のお墓があり、墓碑には頭ヶ島を切り開いた歴史が刻まれています。



前田儀太夫の墓(はか)



「頭ヶ島由来記(かしらがしまゆらいき)」が刻まれた墓碑(ほひ)



大曾教会

1879年、現在の場所の近くに木造の教会堂が建てられましたが、1915年頃に若松の土井ノ浦教会として移築(建物をまるごと移動させること)されました。現在の教会堂は、1916年に鉄川與助によって建てられました。レンガの凹凸や色のちがいを使った壁が特徴です。



青砂ヶ浦天主堂

1879年頃に最初の小さな教会堂が建てられましたが、1910年、鉄川與助によって現在の教会堂が建てられました。信徒たちが海岸から教会堂が建つ小高い丘までレンガを背負って運びました。



鉄川與助

1879年、新魚目町丸尾で、大工の中心人物の長男として生まれました。神父などから技術を学びながら、五島をはじめ九州各地で教会堂を建てました。鉄川與助が建てた教会堂は今でも高い評価を受けています。